



# Wakate News Letter vol. 10

2009. 5. 14 発行

## 1. 活動報告

### 1) 第7回若手運営調整委員会

日時: 2009年4月22日(木) 17:00~

会場: 総合研究棟 D311 室

議題1) 今年度の若手イニシアティブセミナー費用について  
・3万円人を集める事になった。

議題2) 若手研究2009夏フェスティバルについて  
・7/2(木)~7/3(金)に下田臨海実験センターで開催する。  
・招待講演として西田宏記先生(大阪大)、笹倉靖徳先生(筑波大)が決定した。  
・若手研究者が15分程度の発表を行う事が確認された。

議題3) 11月の国際シンポジウムの準備について  
・11/18(水)~11/19(木)に総合研究棟Dで開催する。シンポジストが確定した。  
・講演と学生・ポスドクによる発表を予定している  
・7月にポスター発表募集の告知をし、9月中旬に閉切の事が確認された。  
・原則として、若手研究者もポスター発表を行うことが確認された。

### 2) セミナー (09年4-5月)

#### ▽若手イニシアティブセミナー

##### 第23回

日時: 2009年4月2日(木) 17:00~18:00

演者: 春木宏仁 博士(ジュネーブ大学)

演題: アンカーアウェイ法: 薬剤を用いた核局在タンパク質の局在変化による機能阻害法

会場: 総合研究棟 D115 室/世話人 奥脇暢

##### 第24回

日時: 2009年5月12日(火) 15:00~16:30

演者: 大綱英生 博士(ユタ大学神経生物学)

演題: ゼブラフィッシュ視覚システムの多次元計測

会場: 総合研究棟 D115 室/世話人 丹羽隆介

##### 第25回

日時: 2009年5月12日(火) 19:00~20:00

演者: Dr. Allen P. Minton (NIH)

演題: How Biochemistry *in vitro* Can Differ From Biochemistry *in vivo*

会場: 総合研究棟 D311 室/世話人 Hall Damien

##### 第26回

日時: 2009年5月13日(水) 19:00~20:00

演者: Dr. Allen P. Minton (NIH)

演題: Detection and quantitative characterization of protein-protein interactions in highly concentrated solutions

会場: 総合研究棟 D311 室/世話人 Hall Damien

#### ▽学内セミナー

##### 第285回 つくば分子生命科学セミナー

##### 長谷川潤

演題: 感覚神経ネットワークの可塑性を司るメカニズム

日時: 2009年3月23日(月) 17:00~18:00

会場: 医学臨床講義室C

##### 第5回 つくば医科学公開講座

次世代の医学を形創る若き研究者たち - ポストポスドク世代が目指すもの -

日時: 2009年4月3日(金) 12:00~17:00

演題: 鈴木裕之 「がんの本態解明へのアプローチ」

奥脇暢 「細胞核のダイナミクス」

西丸広史 「歩行の神経メカニズムの研究」

高崎真美 「ES細胞を用いた細胞分化の分子メカニズムの解明と再生医学への応用」

長谷川潤 「触覚神経回路発生の研究から分子創薬を目指して」

会場: 筑波大学法科大学院(東京キャンパス秋葉原地区 ダイビル14F)

#### ▽先端生物科学セミナー

平成21年度 第1回 先端生物科学セミナー

##### 谷口 俊介

演題: 「体軸形成のコーディネーター」

日時: 4月22日(水) 第5限 (15:15-16:15)

場所: 生物農林学系棟 A106

対象: 生命環境科学研究科生物科学専攻必修科目

##### 丹羽 隆介

演題: 「発生タイミング: 発育段階を調節する分子機構の保存性と多様性」

日時: 4月22日(水) 第5限 (15:15-16:15)

場所: 生物農林学系棟 A106

対象: 生命環境科学研究科生物科学専攻必修科目

### 3) 業績 (09年4月)

#### <原著論文>

Nishikimi, A., Fukuhara, H., Su, W., Hongu, T., Takasuga, S., Mihara, H., Cao, Q., Sanematsu, F., Kanai, M., **Hasegawa, H.**, Tanaka, Y., Shibasaki, M., Kanaho, Y., Sasaki, T., Frohman, M.A., Fukui, Y.

Sequential Regulation of DOCK2 dynamics by two phospholipid during neutrophil chemotaxis. *Science* **324**, 384-387 (2009)

#### <学会発表・招待講演> (09年3月)

##### 田中健太

第56回日本生態学会 自由集会「次世代DNAシーケンサーの生態学へのインパクト」

演題: (口頭発表) 「ぞくぞくと始まる生態学への応用」

日時: 2009年3月17日(火)

会場: 岩手県立大学

Jack Brodie, **Tanaka Kenta\***, Maria-Elena Mannarelli & Terry Burke (\*発表者)

第56回日本生態学会

演題: 口頭発表「Origin and distribution of polyploids in northwestern populations of *Arabidopsis lyrata* ssp. *petraea*」

日時: 2009年3月18日(水)

場所: 岩手県立大学

##### Yoshihiko Onda & Tanaka Kenta

第56回日本生態学会

演題: 口頭発表「From 30m to 3000m altitude: Initiating demographic census of *Arabidopsis kamchatica* subsp. *kamchatica* over altitude.」

日時: 2009年3月18日(水)

場所: 岩手県立大学

#### <シンポジウムオーガナイザー>

##### 田中健太、清水健太郎

第56回日本生態学会 自由集会

演題: 「次世代DNAシーケンサーの生態学へのインパクト」

日付: 2009年3月17日(火)

会場：岩手県立大学

## 4) 外部資金獲得状況 (09年4月)

### ▼ 科学研究費補助金

#### 三浦謙治

<科学研究費補助金 若手研究 (B)>

「ICE1 を中心とした低温シグナル伝達ネットワークの解析」  
(H21-H23 350万円)

#### 長谷川潤

<科学研究費補助金 若手研究 (B)>

「脂質性シグナルによる神経回路形成の分子機構」  
(H21-H22 340万円)

#### 福田彩

<科学研究費補助金 若手研究 (B)>

「ヒストンアセチル化を介した転写調節の分子機構」  
(H21-H22 350万円)

#### 谷口俊介

<科学研究費補助金 若手研究 (B)>

「転写因子 FoxQ2 による二次軸形成抑制機構」  
(H21-H22 350万円)

#### Hall Damien Richard

<科学研究費補助金 若手研究 (B)>

「アミロイド形成速度の位置効果」  
(H21-H22 350万円)

### ▼ その他外部資金財団等

#### 田中健太

<稲盛財団 2009年度(平成21年度)研究助成>

「生活史進化と標高適応の生態学・遺伝学的研究：シロイヌナズナ属野生種を用いて」(100万円)

## 5) 若手運営調整委員会よりお知らせ

### ○ 若手分子医学クラスシリーズ記録 (4月)

#### ▽ がんの生物学クラス (担当：鈴木裕之)

第1回 4/24 Introduction

今後の予定

5/9、5/23、5/30、6/13、6/20、6/27、7/11、7/18、7/25

#### ▽ リガンド結合の定量的解析クラス (担当：Damien Hall)

第1回 4/18

・ Overview of Course: From Epidemiology to Enzyme Kinetics

第2回 4/25

・ Historical Models of the Neuron and other Cell Types

今後の予定

5/16、5/23、5/30、6/6

#### ▽ 分子・細胞医学クラス (担当：長谷川潤)

第1回 4/18

・ Function of Mitochondrial Stat3 in Cellular Respiration (Science)

・ Tyrosine dephosphorylation of H2AX modulates apoptosis and survival decisions (Nature)

・ Neuronal activity-induced Gadd45b promotes epigenetic DNA demethylation and adult neurogenesis (Science)

第2回 4/25

・ 細胞極性を制御する分子

・ Generation of induced pluripotent stem cells using recombinant proteins (Cell Stem Cell)

今後の予定

5/9、5/30、6/6、6/13、6/20、7/4、7/11、7/18、7/25

## 2. スケジュール (09年5月)

12日(火) 15:00~16:30

第24回若手イニシアティブセミナー @総合研究棟D-115

12日(火) 19:00~20:00

第25回若手イニシアティブセミナー @総合研究棟D-311

13日(水) 19:00~20:00

第26回若手イニシアティブセミナー @総合研究棟D-311

14日(木) 11:00~12:00

振興調整費合同会議 @総合研究棟D-115

15日(金) 17:00~

審査アドバイザー一部門委員会 @総合研究棟D-311

21日(木) ~29日(金) 9:00~11:30/13:30~15:30

職員定期一般健康診断、特殊健康診断及びがん検診等  
(保健管理センター・大学会館)

26日(火) 15:00~

科学技術振興機構ヒアリング @総合研究棟D-311

## 3. 事務連絡

### ○ 出張の申請について

#### 【若手教員の出張】

国内・国外出張について、事前に出張期間・出張目的・出張先・業務内容を記載した出張計画書を若手支援室に提出してください。

・研究に資する目的か ・期間・日程等に無駄がないか などの確認をさせて頂き、特殊な事情がない限り J S T への事前同いの必要がなくなりました。

出張報告書は、出張後、出張計画書を加筆・修正するなどして提出してください。出張計画書の内容に問題がないと判断された時点で、大学側に出張手続きを進めてください。大学に提出した出張届と出張報告書は、必ず写しを若手支援室まで提出してください。

#### 【研究者(研究補助者)の出張】

上記の内容に加えて・若手研究者本人が行けない事情がある ・若手研究者の研究に資する ・該当研究補助者が若手研究者の代理として最適である などの要件が満たされていなければ出張の許可が出されます。出張伺いは、若手研究者と同じ手順で進めてください。

(注) 研究者(研究補助者)は学内で研究する事が条件ですので、若手教員の命令であっても、必ず出張手続きを行ってください。

### ○ 出張取り消しの手続きについて

ブタインフルエンザ(新型インフルエンザ)の感染発生国等への海外渡航の自粛・中止勧告などに伴い出張を取り止める場合は、下記のとおり手続き願います。なお、出張取り消し承認後の航空券等のキャンセル料は、旅費として支給することが可能です。

#### ・仮払の場合

出張届の承認：服務監督者→旅費の仮払い(航空券等の購入)→出張取り消しの申出書：旅行者から服務監督者へ→出張(取り消し)届の承認：服務監督者→キャンセル料の発生、領収書の提出→仮払旅費の精算(請求書の発行) 仮払支給額からキャンセル料を差し引いた金額の返納

#### ・精算払の場合

出張届の承認：服務監督者→航空券等の購入→出張取り消しの申出書：旅行者から服務監督者へ→出張(取り消し)届の承認：服務監督者→キャンセル料の発生、領収書の提出→経費精算入力(FAIR)：予算管理部局→キャンセル料の支給

### ○ 新型インフルエンザ情報(急告)

筑波大学の全施設への入館制限

4月19日以降、感染発生国(メキシコ、米国、カナダ等)から帰国された方(学生・教職員を含む)又は来日された方は、帰国後又は来日後7日間は筑波大学全施設への入館を禁止します。

発熱されている方(学生・教職員を含む)は、筑波大学全施設への入館を禁止します。(※季節性または新型のインフルエンザ以外の原因による発熱であるとの診断があった方をのぞきます。)

発熱や咳などインフルエンザと似た症状がみられた場合には、迷わず最寄りの保健所に「電話」で相談ください。

今後、成田空港以外で感染者が確認された場合には、**全学一斉休講とすることもあります。**

個人で感染防止に努めて下さい。

### ○ 職員定期一般健康診断、特殊健康診断

実施期間：5/21(木)~5/29(金)

場所：保健管理センター・大学会館

※ 職員全員が受診しなければなりません。

-----  
**Wakate News Letter vol.10** [平成21年5月号]

編集・発行：若手研究者運営調整委員会

\*当ニュース・レターは、毎月1回定例会後に配信いたします。

連絡先：若手支援室

担当 根本 nemoto.yoko.fb@un.tsukuba.ac.jp